



〈公式HP〉





代表取締役社長

萩尾 寿昭

## お客さま、社会の声から 開発する新技術。

当社は、日本国内はもちろん、世界唯一のオンリーワン技術を追い求め続けています。すべての技術開発のスタートラインは、人や企業、そして広く社会が抱える各種課題を解決することにあります。創業の礎石となった革新的技術「鋳型修理」が、当時の世相には存在しなかった「CO<sub>2</sub>削減」「資源保護」につながる技術であったように、当社は常に一歩先を見据え、社会貢献する役割を担ってきたと自負しています。

お客さまや社会の声に真摯に耳を傾け、当社は新しい、優れた技術を開発し、サービスを提供し続けて参ります。どんな小さなことであれ、不便や不安をお感じのことがあれば、是非私たちフジコーにお聞かせください。

## 社訓

- 一、常に夢と計画性を持ち、人生意気に感ずべし
- 一、縦・横の連携を保ちグループとしての総力を発揮すべし
- 一、人心の機微に徹し相互の融和を図るべし
- 一、派閥を禁じ常に明朗なるべし
- 一、躰を以て社風を培養すべし

# 前例のない仕事。

皆が「不可能だ」と口を揃える。

世の中が強く求めている、応える方法が世界に存在しない。

そんな前例のない仕事に取り組み、独自の技術力で解決する。

誰も踏み入れたことのない道を、フジコーは歩み続けてきました。

私たちが求め続けてきたのは「企業の利益」の高さではありません。

技術や製品の「社会的な価値」の高さです。

そこには、溶接による鋳型修理のように、

創業当時から持続可能な社会に貢献する意志も含まれています。

前例のない仕事。

それは、フジコーにとって、無限に広がる挑戦のフィールドであり、

より良い未来を創るカギになると私たちは信じています。

消火器  
↓

# 世の中の不可能が、 フジコーの可能性。

できるはずがない！  
世界初。鋳型の溶接修理に成功。

1952年4月、山本秀祐が創業した富士工業所がフジコーの原点です。山本は八幡製鐵所との取引を望んでいましたが、八幡製鐵所は指定業者限定取引が原則で新規業者を受け入れていませんでした。そこで山本は「新しい発明をする以外生き残る道なし」と考えました。それが「永遠のベンチャー企業」フジコーの真の第一歩です。

当時、溶鋼を製品化するために使われていた「鋳型」は、高温に耐えきれず数回で使えなくなり廃棄されていました。山本が目をつけたのは、この鋳型の修理です。鋳型を修理して使い続ける。理想ではあるのですが、当時は誰に聞いても「不可能」が常識でした。

ところが山本は、独自の溶接法を開発し、その不可能を可能に変えたのです。世界初の快挙は鉄鋼業界に知れ渡り「難しい溶接補修なら富士工業所へ」と、飛躍的に取引を拡大していきました。

大手製鉄所の信頼を得て業務拡大。  
生まれた時からSDGsに貢献。

鋳型修理に加え、製鉄所内のさまざまな消耗部品の補修、工程の一部を丸ごと請負うライン操業など、業務を拡大していきました。鋳型修理に関しては、鋳型にかかるコストを約3分の1に削減するだけでなく、環境保護の視点でも貴重な資源やエネルギーを守ることもつながりました。今の「SDGs」に創業時から貢献していたといえます。

社会的に意義のある数々の成果、貢献に対し、山本秀祐は1966年黄綬褒章を受章しました。会社も驚くべき勢いで急成長を続けます。創業から20年で従業員数は約30倍以上に。新しい発明は、信じられないような展開をもたらしてくれました。

しかし、その後にベンチャー企業ならではの落とし穴が待っていたのです。

## 谷を迎える前に、 次の山を見つける。

鑄型の「修理」で躍進したフジコーでしたが、1970年代になると連続鑄造法という鑄型を使わない技術が生まれ、世界的に広まっていきました。鑄型を必要としないので、当然修理する仕事はなくなります。断腸の思いで1390人いた従業員を632人まで減らすという、リストラを実施しました。

ベンチャーとして成長したフジコーは、その技術から「新しさ」が失われたとたんに衰退していったのです。鑄型修理の成功に安心し、次の主力となる事業の模索に真剣さが不足していたと経営陣は反省しました。常に新しい技術改革をやっていく。会社が好調なときにこそ、次の事業に挑戦していかなければ、いざというときに間に合わない。フジコーは、永遠のベンチャー企業でなければいけないという気風が社内に持ち上がりました。

## 「明るい貧乏」 そこから生まれる新技術。

赤字でも注文を受ける。製鉄所内のメンテナンス業者として生き残る。会社を継続するためにフジコーはあらゆる努力を惜しみませんでした。創業者・山本秀祐は常々「明るい貧乏をせないかん」と言っていました。貧乏に明るさがあるのか?と問うと、「先に夢が、希望があるから明るいんだ。無ければどん底だ」と答えていました。

その言葉通り、フジコーは、どんなに経営が苦しいときでも技術開発への投資を続けていきました。技術開発はカタチになるまで5年、10年という月日が必要です。どんな苦境に直面していても、10年後に希望があるのなら「明るい貧乏」を胸に刻み技術開発の手を休めないことがフジコーの信念なのです。

# ベンチャーでなければ、 フジコーではない。

# 鉄で磨いた技術が、 人の健康のために。

山路を登りながら

## 小さな会社にしか挑めない 開発がある。

たゆまぬ新技術への挑戦から、続いて世界初の独自のロール・ローラー製造技術「CPCプロセス」が生まれました。従来の技術では不可能だった材料のクラッド（異なった金属を用途に合わせて接合し一枚板にすること）が可能になり、適正コストで高品質な製品の製造が実現。作業スピードも飛躍的に向上しました。

新しい技術は画期的であるほど開発リスクも多く、大きな会社では開発の意思決定までに長い検討時間が必要になることがあります。思い切った技術開発を効率よく実行し、常に新たな挑戦を続けられるのは、フジコーのようなコンパクトな会社の利点でもあります。

## 止まっていた光触媒の 進化を動かす。

フジコーが鉄鋼で培った技術は、意外な方向へと活かされます。それは「光触媒」。光を当てるだけで「殺菌」「脱臭」「有害物質除去」ができる夢のような金属粉末で、2000年頃に、さまざまな商品が発売され注目を集めました。

しかし、そのコーティング方法に大きな課題があり、短期間で効果が減少していくのです。成長が止まってしまった光触媒。その可能性を再び拓いたのが鉄鋼の世界で培った特許技術「低温高速溶射」です。従来の接着剤に混ぜてコーティングする方法に比べ、純度の高い光触媒皮膜を形成することができ、強い効果を持続することに成功しました。

その技術は空気清浄機などの商品化に活かされています。鉄鋼技術の可能性を「環境」及び「健康」分野に広げて活かしていく。それもフジコーの開発力です。

# 道はなし。 拓いていく。

## 開発は、 挑戦でなければいけない。

フジコーでは、社員の「失敗」を責めることはありません。何事もやってみないとわからない。やったからこそ新しい発想が出てくる。失敗の重なりが成功に導く道だと信じているからです。開発は「挑戦」です。安定を求めてできるものではありません。

フジコーでは、自社が開発した技術を開示しています。「外に出すものではない」という意見をいただくこともありますが、世に出た技術は、すでに「古い技術」です。そこに頼り切っているのは、フジコーの未来はありません。

私たちが求めてやまないのは、誰も実現したことのない、世界中どこを探しても見つからない技術です。日本の技術力は、まだまだ世界と勝負しても十分に勝てるポテンシャルを持っていると確信しています。フジコーは、これからも「前例のない仕事」に取り組み続け、それを証明していきたいと考え、行動していきます。

## フジコーの歴史

- 1952年 昭和27年
  - 4月1日、山本秀祐、富士工業所を創業
  - 6月15日、八幡製鐵株式会社 八幡製鐵所内にて内部溶損補修した銅塊鑄型での注湯・引抜テストに成功(以降、同月同日を創立記念日とする)
  - 同所内に八幡事業所を開設
- 1953年 昭和28年
  - 住友金属工業株式会社 小倉製鐵所内(現:日本製鐵(株)九州製鐵所 八幡地区)に小倉事業所開設
- 1958年 昭和33年
  - 「銅塊鑄型の修理法」特許登録
- 1959年 昭和34年
  - 北九州市戸畑区牧山に牧山工場を開設
- 1962年 昭和37年
  - 日本鋼管株式会社 京浜製鐵所内(現:JFEスチール(株)東日本製鐵所 京浜地区)に事業所開設(現:京浜事業所)
- 1966年 昭和41年
  - 日本鋼管株式会社 福山製鐵所内(現:JFEスチール(株)西日本製鐵所 福山地区)に事業所開設
  - 山本秀祐、銅塊鑄型の修理により「黄綬褒章」受章
- 1967年 昭和42年
  - 川崎製鐵株式会社 水島製鐵所内(現:JFEスチール(株)西日本製鐵所 倉敷地区)に事業所開設(現:倉敷事業所)
- 1968年 昭和43年
  - 現本社社屋完成
  - 八幡製鐵株式会社 君津製鐵所内(現:日本製鐵(株)東日本製鐵所 君津地区)に事業所開設(現:千葉事業所(君津地区))
- 1969年 昭和44年
  - 「高周波電流を使用する連続肉盛溶接法」(CPC)特許登録
- 1970年 昭和45年
  - 株式会社神戸製鋼所 加古川製鐵所内に事業所開設(現:加古川事業所)
- 1973年 昭和48年
  - 株式会社 吾嬬製鋼所内(現:JFEスチール(株)仙台製造所)に事業所開設(現:仙台事業所)
  - 岡山県浅口郡(現:浅口市)に山陽工場 竣工
- 1990年 平成2年
  - 宮城県岩沼市に仙台工場を開設(現:岩沼工場)
- 1991年 平成3年
  - 「株式会社フジコー」に商号変更
- 1993年 平成5年
  - 創立40周年を記念して技報「創る」第1号発刊
- 2000年 平成12年
  - 関係会社「株式会社アソートフジ」設立
- 2002年 平成14年
  - 創立50周年を記念し、技術開発センター開設
- 2003年 平成15年
  - 山陽工場ISO9001:2000認証取得
- 2005年 平成17年
  - 第1回ものづくり日本大賞(九州ブロック)優秀賞受賞(フレーム温度制御可能な超微密超密着溶射技術)
- 2006年 平成18年
  - 関係会社「株式会社フジケア」設立
- 2009年 平成21年
  - 熱延大型圧延ロール再生事業・光触媒関連事業開始
- 2011年 平成23年
  - 関係会社「株式会社マスクフジコー」設立
- 2012年 平成24年
  - 創立60周年
  - 第4回ものづくり日本大賞 特別賞受賞
- 2013年 平成25年
  - 北九州市若松区に若松響工場 竣工
- 2016年 平成28年
  - 若松響工場ISO9001:2015認証取得
- 2017年 平成29年
  - 第42回発明大賞 日本発明振興協会会長賞受賞
  - 知財功労賞 経済産業大臣表彰受賞
  - 経済産業省 地域未来牽引企業選定
  - 第7回ものづくり日本大賞 特別賞受賞
  - 株式買収によりビー エスチール・クリエイト株式会社を子会社化し、2018年 株式会社クリエイトフジに社名変更
- 2018年 平成30年
  - 山本厚生、中小企業振興功労として「旭日小綬章」受章
- 2019年 令和元年
  - 技術開発センターを北九州市戸畑区から若松区へ移転
- 2022年 令和4年
  - 北九州市若松区響灘地区に若松響第2工場 竣工
  - 創立70周年
- 2024年 令和6年
  - 株式買収により新大倉工業株式会社を子会社化

フジコーの事業案内

# 鉄の現場から 光の未来へ

創業当時の主力事業であった鋳型修理から変革すべく、

一丸となって新たな受注を獲得したのが製鉄所構内で行う多彩な作業。

一つひとつ現場の依頼に応え、技術と信頼を積み重ねた結果、

全国の製鉄所から構内作業全般を請負う

“無くてはならない企業”として共に成長してきました。

一方で製造工程において消耗が激しい部品を

耐用度の高い部品へと研究・開発する「技術開発センター」を開設。

現場での経験とさまざまな研究を重ね、フジコー独自の溶射や溶接、

CPCプロセスや再生ワークロールなどの高性能な新技術を開発。

それらを商品化する製品事業部も誕生しました。

鉄の現場で生まれたフジコー独自の技術は、さらに光触媒の分野へ活かされ、

医療や宇宙、未来エネルギー等、新たな歩みが始まっています。

## P15 鉄鋼事業

操業オペレーター・操業補助作業/  
設備メンテナンス/製造

## P19 エンジニアリング事業

解体工事/配管工事/機械設置/  
鉄骨工事/建築工事/土木・湾港工事

## P21 製品事業

CPCロール/再生技術/  
摩擦圧接による圧延用ロール/  
鬼齒・受齒・複合ライナー

## P25 環境プラント施工

## P27 新環境事業

消臭抗菌床タイル/消臭除菌グッズ/  
空気消臭除菌装置

## P29 技術開発

新環境事業創造へチャレンジ  
脱臭技術による生活環境改善  
自然エネルギーの活用  
除菌技術による衛生環境改善



# 鉄鋼事業

鉄鋼メーカーのベストパートナー

永遠なる基幹素材・鉄と歩み続ける。

製鉄所の鑄型修理を出発点とし、滓鍋修理作業・転炉ランス取り替え作業・鋼片疵取り作業等の、構内作業全般を請負うまでに成長しました。また、現場でさらに幅広い技術・技能を習得し多くの製鉄所で構内の保全整備作業、いわゆる設備メンテナンス事業を請負い、近年では不定形耐火物施工の分野にも展開しています。現在、様々な企業へも事業を拡大し、製鉄所の設計・製作・据付・操業・保全まで、全てを担う「エンジニアリング事業」としてあらゆるお客さまのニーズに応えています。



滓鍋地金切断作業



鑄型修理作業



アーク溶接作業

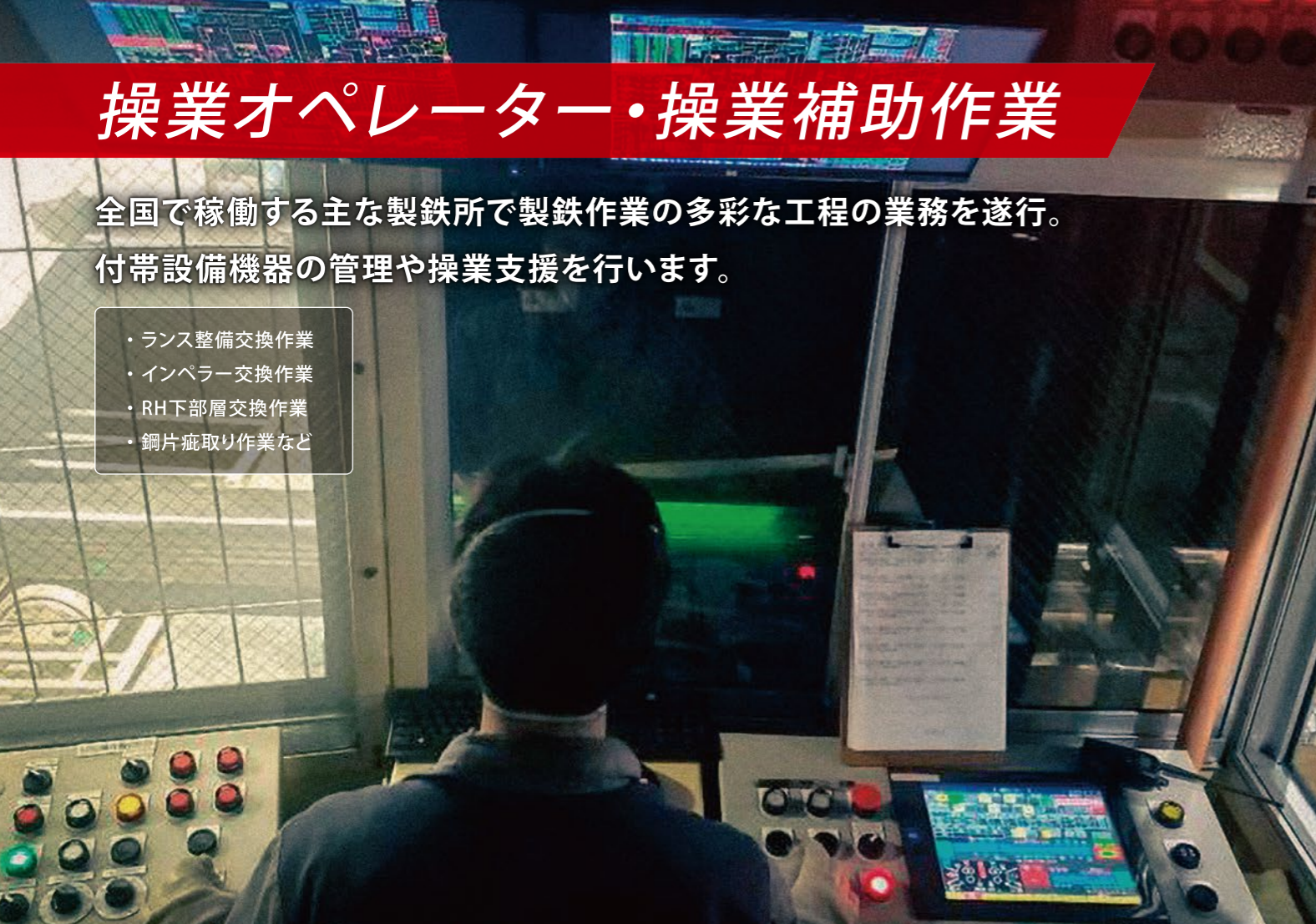


TIG溶接作業

## 操業オペレーター・操業補助作業

全国で稼働する主な製鉄所で製鉄作業の多彩な工程の業務を遂行。  
付帯設備機器の管理や操業支援を行います。

- ・ランス整備交換作業
- ・インペラー交換作業
- ・RH下部層交換作業
- ・鋼片疵取り作業など



## 設備メンテナンス

製鉄機能を維持するための  
製鋼・圧延設備の各種補修作業、  
オーバーホール等を行います。

- ・連続鑄造設備セグメント整備
- ・クレーンガーター亀裂補修
- ・ポイント性能検査設備
- ・減速機軸受交換
- ・各種溶接補修作業



## 製造

フジコーの技術には、鉄鋼にとどまらず  
不定形耐火物施工の分野に展開。  
金物製作・混錬・流し込み・  
養生・脱枠・乾燥までの  
一貫施工を行っています。

- ・スラグダーツ製造
- ・インジェクションランス製造



# エンジニアリング

プラント関連の工事にとどまらず、多岐にわたる事業を展開。

鉄鋼事業で培ったトータルメンテナンスのノウハウを活かし、  
鉄鋼事業以外の事業用発電プラント設備の設計・製作・据付・保全などを行なっています。  
また公共工事の施工・補修・改修なども請負っており、  
多岐にわたる分野のエンジニアリング事業を展開しています。

自動車工場 配管更新工事



配管工事

機械設置



製鉄所構内 集塵機据付工事

解体工事



電力会社 機械解体工事

鉄骨工事



フジコー 若松響第2工場鉄骨工事

消波ブロック製作工事



土木・湾港工事

建築工事



福岡県警発注 建築工事

## 建設業メニュー

- 土木事業 ○ 建築事業 ○ 機械器具設置事業
- とび・土工事業 ○ 管工事業 ○ 塗装事業 ○ 鋼構造物事業
- 電気事業 ○ タイル・れんが・ブロック事業 ○ 屋根事業
- 大工事業 ○ 左官事業 ○ 石工事業 ○ 鉄筋事業
- 舗装事業 ○ しゅんせつ事業 ○ 板金事業 ○ ガラス事業
- 防水事業 ○ 内装仕上事業 ○ 熱絶縁事業 ○ 造園事業
- 建具事業 ○ 水道施設事業 ○ 消防施設事業 ○ 解体事業



福岡県発注 建物解体工事



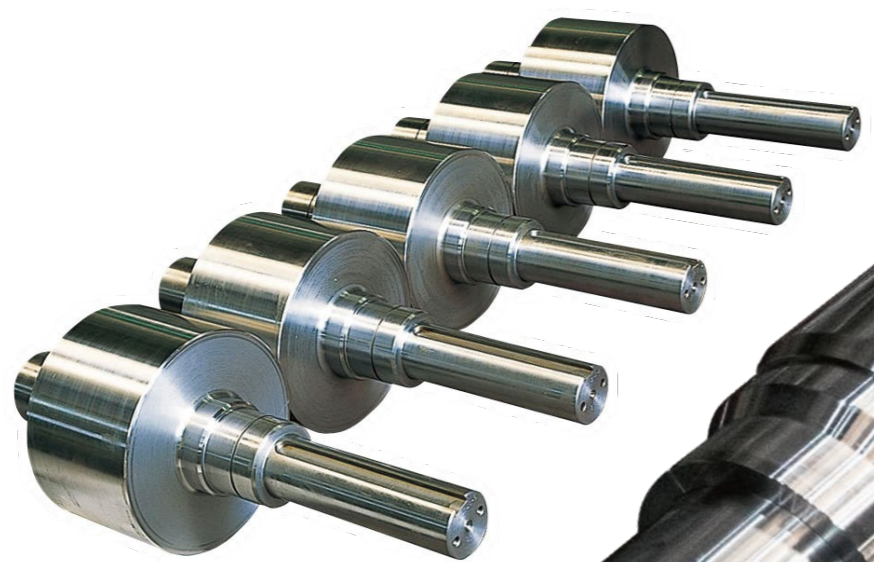
ごみ処理施設解体工事

# 製品事業

製鉄所構内の操業消耗部品に独自開発した技術を投入、

高耐久・高強度な新製品の市場化を図っています。

CPCプロセスによる「圧延ワークロール・ローラー」、摩擦溶接による「異種材の接合」、ワークロール軸接合による「再生ワークロール」、鑄掛溶接肉盛法による「焼結鉬粉砕機用鬼歯・受歯」、板状クラッド鑄造技術による「ライナー」等、全てが独自開発したオリジナル技術で2つの材質をクラッド化し、長寿命を実現した画期的な商品です。



ブルームCCピンチロール



熱延仕上圧延機ワークロール



熱延搬送ローラー及び巻取機ラップロール

## CPCロール

不可能の壁を超える独創的技術で、無限の可能性を拓くクラッドを実現

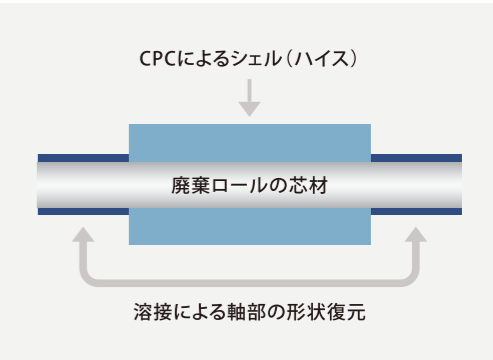
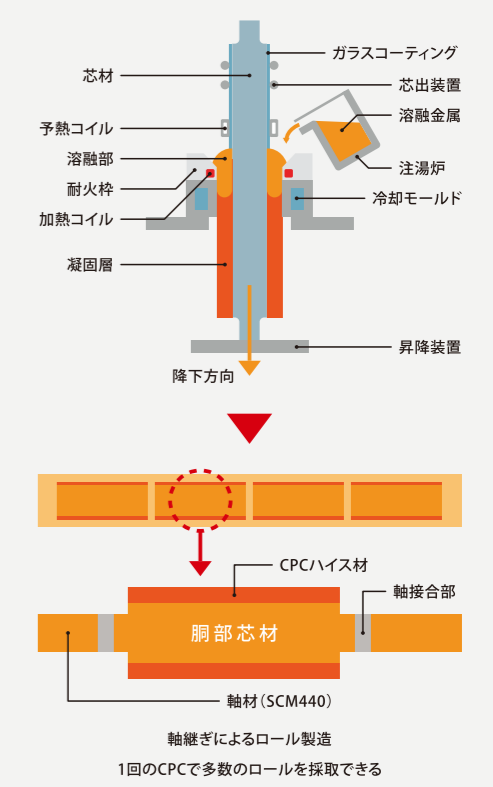
フジコーが独自に開発したCPCプロセスは、他の製法では不可能な特殊な材料をクラッドする画期的な技術です。そのクラッド層は均一な成分組織で、円柱状または円筒状の芯材に一層の肉盛で自由な厚みを設計できます。このプロセスで製造されるロール・ローラーは、耐久性の飛躍的向上と強靭性を兼ね備え日本国内はもとより、海外から高い評価を得ています。

## 再生技術

コストパフォーマンスに優れたクラッドで新品同様のワークロールへ

フジコーが有するCPCプロセスと溶接技術を組み合わせ、使用済ロールの再生を実現しました。この結果、適正な価格で高性能なロールの提供が可能に。さらに、社会的要求である省資源およびカーボンニュートラルにも大きく貢献しています。

CPCプロセスの概要図

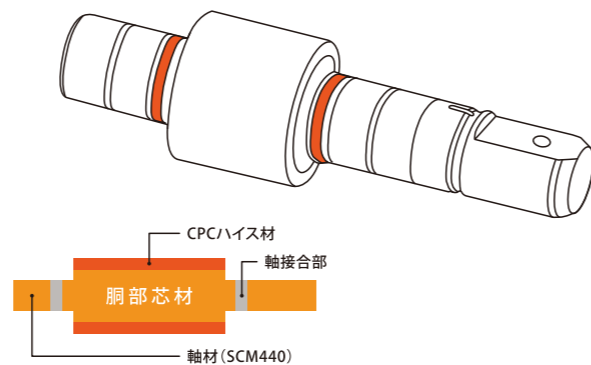




## 摩擦圧接による圧延用ロール

### 世界で初めて大型の摩擦圧接に成功 品質向上とコスト削減を両立

フジコーが開発した独自の摩擦圧接技術により、これまで不可能だった最大で直径650mmという大きなサイズへの摩擦圧接ができるようになりました。この技術によって鉄鋼圧延用ロールの軸部接合や、その他分野の大径部材への接合が可能になりました。



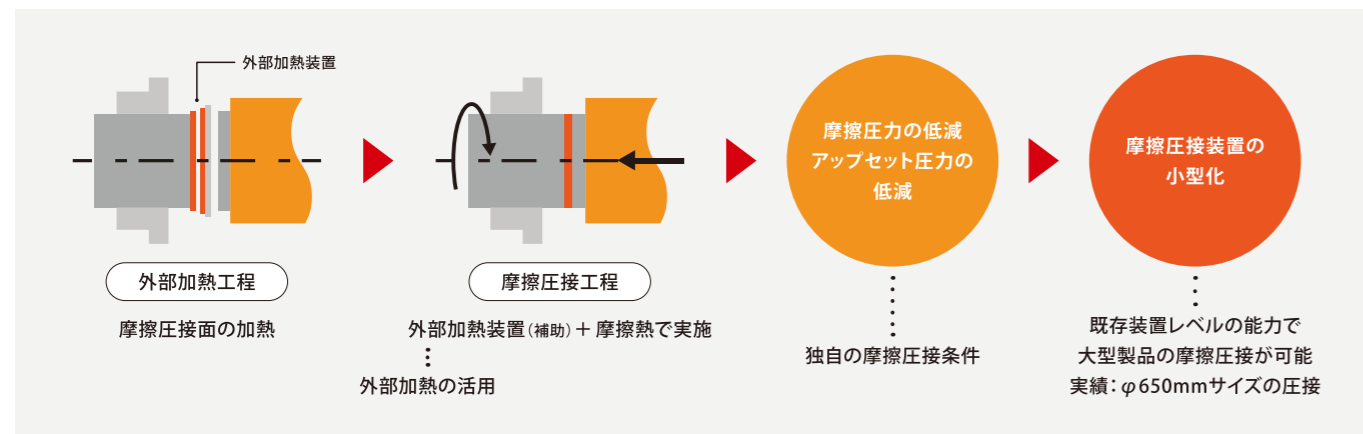
4つのメリット

品質安定化

経済性向上

生産性向上

軸継ぎ部の強度アップ



## 鬼歯・受歯・複合ライナー

### 圧倒的な耐久性をユニークな製法で実現 国内トップシェアが物語る信頼性

「鉄の溶接はできない」という常識を打ち破り、「鑄掛」という古くて新しい技術を駆使して、機械強度と高温耐摩耗性を兼ね備えた複合機械部品の製造を確立しました。さらに、焼結工場のような高温摩耗環境下では、鬼歯・受歯を水冷化して、桁違いの耐用性を実現しました。また、この技術を応用した肉厚で大型の耐摩耗複合ライナー（ESTライナー及びプラテクトライナー）は、アンローダーやセメント分野などで設備耐久性向上やコスト低減に大きく貢献しています。

#### フジコーの独創的な鑄掛肉盛技術

極厚クラッド層を作ることができる鑄掛肉盛技術は、高性能・低コストを実現したフジコー独自の複合技術です。クラッド材は高炭素・高クロム系であり、製鉄所の焼結鉱粉砕設備など、国内外で独占的な実績を誇ります。

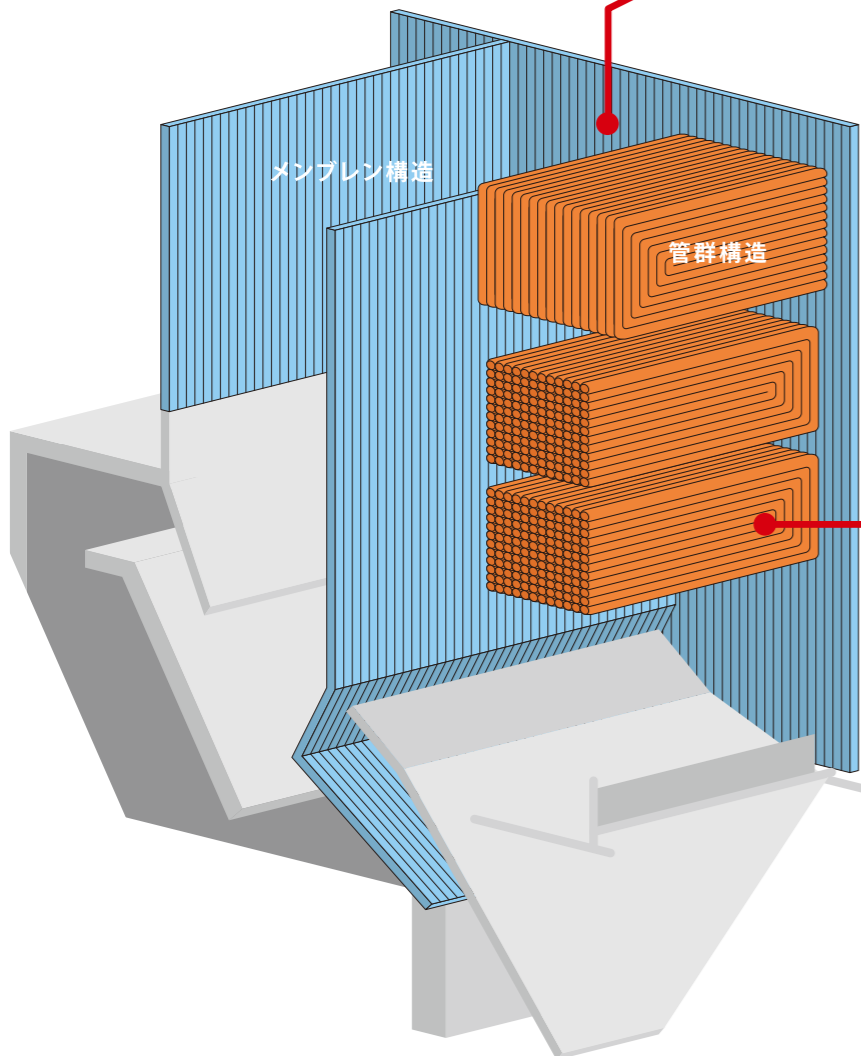


# 環境プラント施工

## ものづくりで鍛え抜かれたハードフェーシング技術の応用と 顧客目線に立った柔軟な工事対応で攻めるプラント施工。

全国のごみ焼却プラントでは、エネルギーの回収効率化やダイオキシン公害問題などに対応するため、より過酷な操業条件に移行するとともに、公設民営方式 (DBO方式) の採用に伴い長寿命化へのニーズが高まっており、施設内損耗対象のさらなる高耐食性が求められています。

フジコーは、環境関連プラント設備、焼却炉等の壁面や損耗機器にニッケル合金を代表とする表面処理 (溶接・溶射ほか) を施すことで、高温環境下での耐酸化性・耐腐食性を実現しています。当社工場内での生産はもちろん、既設設備への現地施工にも対応しています。



### 施工例 (燃焼室水冷壁)

燃焼室 (炉) は焼却の熱・ガスによる影響が最も過酷な対象であり、炉壁を構成する炉内側水冷壁への表面処理を施しています。溶接・溶射の両プロセスとも当社工場内での生産、既設設備への現地施工にも対応しています。



### 施工例 (過熱器管)

過熱器管は、燃焼ガスの熱エネルギーを有効利用 (発電含む) するのに欠かせない過熱器を構成する水管であり、外周全面の表面処理を施しています。溶接・溶射の両プロセスとも当社工場内で施工対応しています。



# Fプロセス

(新技術)

お客さまからのさらなる長寿命化への期待、そして表面処理のコストダウン要望に応える新しい表面処理技術です。その名も当社フジコー (FUJICO) の「Fプロセス」。

溶射では対応できない高い密着度、溶接では不可能な低希釈率や薄膜施工。これらを解決するとともに、お客さまに満足いただけるコスト提供を実現していきます。処理法の説明やサンプル提供は可能ですので、営業窓口までお問い合わせください。

## Fプロセスの特長

### 高精度・低歪みの薄膜が形成

MIG溶接に比べて薄膜で均一性が高く、熱影響による歪みが大幅に抑制されます。

### 溶射と同等、MIG溶接を上回る耐食性

王水腐食試験で、溶射と同等の耐食性を示し、MIG溶接と比較して圧倒的に優れた耐食性を発揮します。

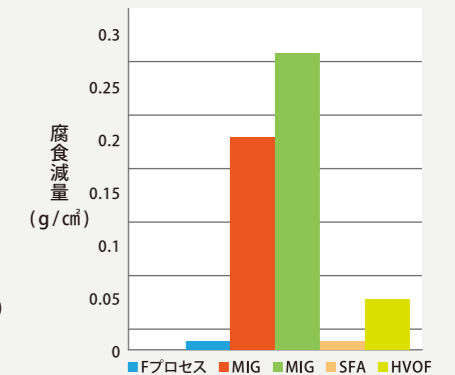
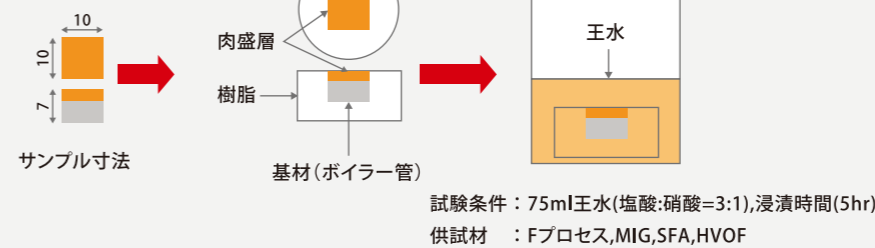
### MIG溶接比「7倍以上」の耐久性

高温環境下の腐食試験で、MIG溶接の7倍以上の耐久性を確認。過酷な高温条件下でも長期安定性が期待されます。

分類	Fプロセス	MIG	溶射 (SFA)	溶射 (HVOF)
肉盛材料	Alloy625	Alloy625	自溶合金	自溶合金
膜厚	約0.5mm	約1.5mm	約1mm	約0.2mm
密着力	◎溶融接合	◎溶融接合	○拡散接合	△機械的接合
熱負荷 (歪み)	小	大	小	極少
対象製品	燃焼室水冷壁 過熱器管	燃焼室水冷壁 過熱器管	過熱器管	燃焼室水冷壁 過熱器管

## 腐食試験結果の一例

### 王水腐食試験

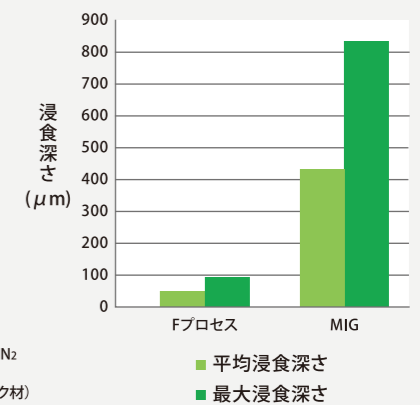


### 高温腐食試験



試験方法：塩埋設高温腐食試験方法 JIS Z2293  
試験実灰：19%Ca-7.2%Na-6.2%K-0.2%Pb-2.5%Zn-8.1%Cl-6.2%S  
試験温度：650°C ± 4°C  
試験時間：150hrs

ガス成分：1,000ppmHCl+50ppmSO<sub>2</sub>+10%O<sub>2</sub>+20%H<sub>2</sub>O+bal.N<sub>2</sub>  
ガス流量：600mL/min  
供試材：Fプロセス (0.5mmt), MIG (1.5mmt), SUS310S (JISレク材)  
サイズ：10×20×5<sup>7</sup>t



■ 平均浸食深さ  
■ 最大浸食深さ

# 新環境事業

トータルで、より安心・快適な空間の提供を目指す。

日本で開発された光触媒技術は「酸化チタン」そのものを素材にコーティングする技術が長年課題でしたが、当社の「溶射技術」は、バインダー（接着剤）を全く使用しない「光触媒100%」を使用する特許技術であり、除菌と消臭に大きな性能を発揮しています。

また、「スプレー技術」も同様にバインダーを使用せずに、幅広い基材へ皮膜化が可能です。

当社技術は一般住宅や病院、トイレの床材や空気清浄機に使われています。

## 消臭抗菌床タイル

塩ビタイル  
MTS-450

塩ビタイル  
MTS-915

セラミック  
タイル  
MTC-300

## 消臭除菌グッズ

キラ・クリーン

キラ・エア

## 空気消臭除菌装置

マスククリーン  
MC-T102

ブルーデオM型  
MC-M102

ブルーデオS型  
MC-S201

アカリア  
MC-P101

# 技術開発

永遠のベンチャースピリッツで

未来への道標を創り続ける

鑄型修理を原点とするフジコーの技術開発への挑戦は、創業当時よりSDGsの思想です。鉄鋼事業の現場では部品の消耗を抑え、耐用度が高い部品が望まれます。2002年に開設した技術開発センターでは、現場の経験では不可能なことを可能にするとの強い想いで研究を重ね、特許技術となるCPCプロセスや、未来へ道を拓く光触媒技術などさまざまな新技術を開発してきました。そして、2019年より北九州市響灘地区エネルギーパークを拠点に、お客さまと地球環境の未来への道標を明確にするべく、革新的な技術創造を続けています。



国内特許権取得件数(累計) 合計204件

(2026年3月31日現在)



新環境事業  
創造へ

ガス浄化    太陽光発電  
衛生環境改善

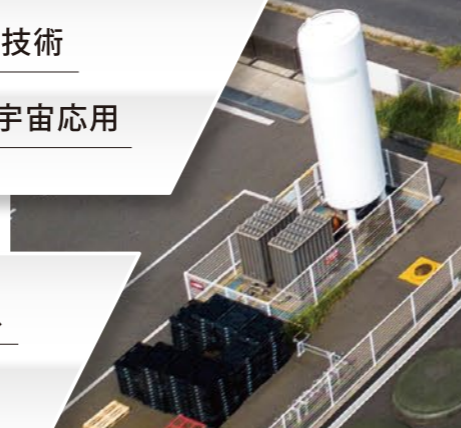
光触媒事業

光触媒低温溶射技術  
ハイブリッド光触媒    宇宙応用

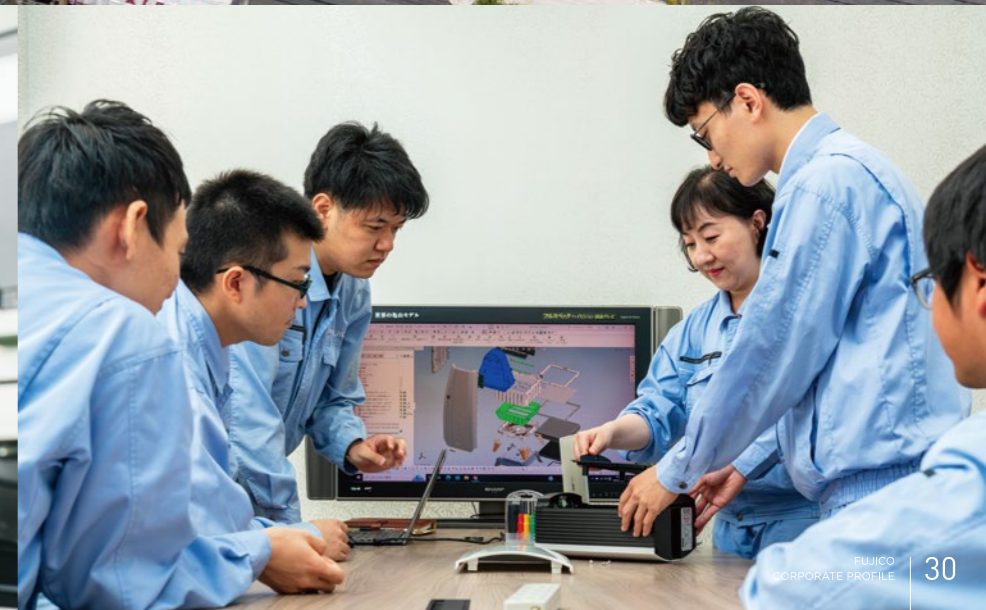
鉄鋼・製品事業

CPCプロセス    鑄掛プロセス  
摩擦圧接技術

技術開発の流れ



真空炉ブース



# 新環境事業創造へチャレンジ

光触媒事業の次なる事業として、新環境事業を創造して参ります。新環境事業では、脱臭技術の実用化、自然エネルギー活用の促進、パンデミック対策を先取りした除菌技術による貢献を通じて、当社が主導する新環境事業を創造しようとしています。



## ガス浄化技術による生活環境改善

各種工場が発生する有害ガスの浄化が求められる現在において、当社では脱炭素で省エネを実現した独自開発のガス吸着・触媒浄化技術を採用した小型コンパクトなガス浄化装置を開発しています。これにより、工場内の労働環境改善に留まらず、近隣に生活する人々の環境改善に貢献していきます。



北九州市では独創的な製品や技術、サービスを提供する優れた中小企業を「オンリーワン企業」として認定し、中小企業の成長を支援しています。「光除菌」と名付けた当社の光触媒技術で商品展開をしている「光除菌シリーズ」について、2024年に北九州オンリーワン認定企業として認定証を受領しました。

## 自然エネルギーの活用



太陽光利用として、当社独自の小型円筒形太陽光発電デバイスにより、軽量で投影面積当たりの高発電量の確保が可能となり、持ち運び用途やビニールハウス設置等の農業用途を指向し、更に公園の街灯発電等での活用シーンの拡大に貢献していきます。



## 除菌技術による衛生環境改善



感染防止対策として、当社の除菌・抗ウイルス製品及びその技術が応用できるよう、産学官連携で実証試験を含めた取り組みを実施し、パンデミック対策に貢献していきます。さらに家畜の伝染病リスク低減のため、当社除菌技術の活用を畜産農家や大学と共同研究を行い、衛生環境の向上に取り組んでいます。

## 宇宙ステーションにおける生活環境の改善にフジコーの技術が！

極限の環境にある宇宙では、光さえあれば効果が持続する光触媒は、大きな可能性を秘めています。過去にはJAXAとの共同研究を実施し、有人宇宙施設等での生活環境向上の可能性を探りました。現在は、マウスの飼育用ケージに、当社の光触媒技術が使われています。さらには、2028年の完成を目指す月周回有人拠点(Gateway)構想に向けた当社の役立ちとして、宇宙船内の空調用熱交換器フィンへ高精度な光触媒皮膜加工を行い、熱交換時に発生する凝縮水の完全回収システムの一翼を担うべく実証研究を行っています。



● 製品輸出



# 北九州から世界へ。 未来をつなぐ フジコーネットワーク

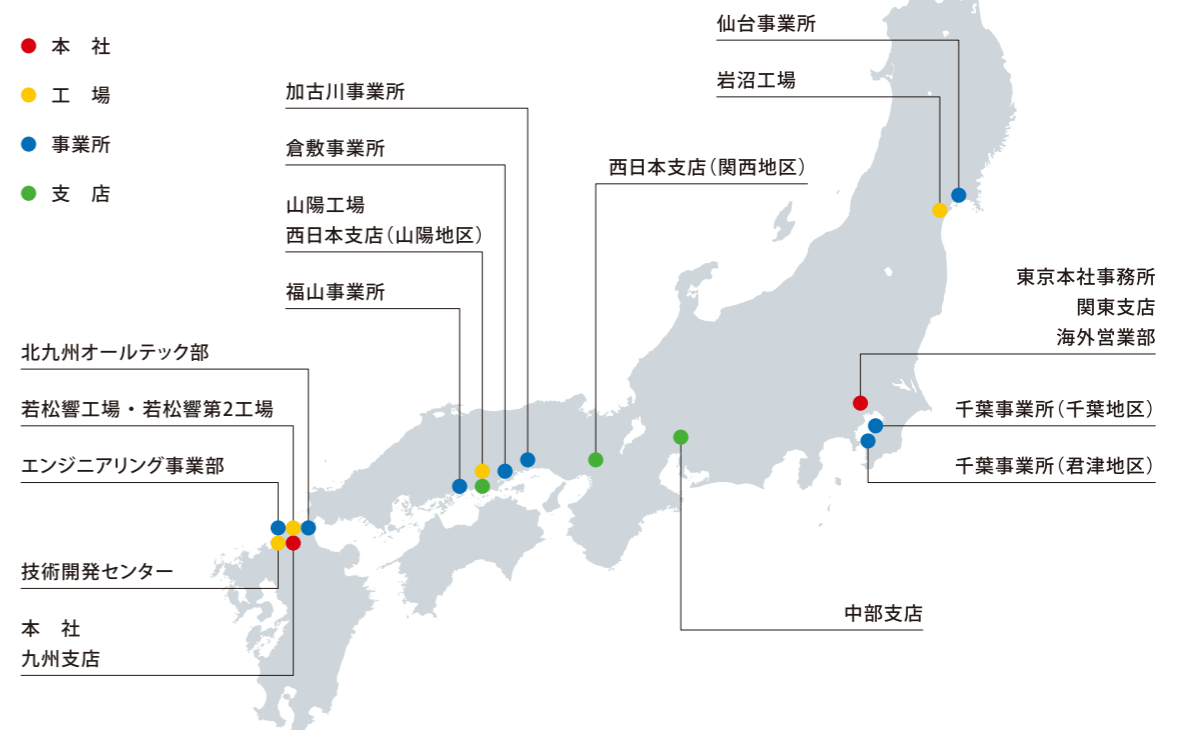
1952年、八幡製鐵所から始まったフジコーの歴史。  
全国の製鉄所に独自の技術を提供しながら日本の経済発展に貢献してきました。  
さらに世界各国へ、フジコーの技術や製品が輸出されています。

## 海外向け異形棒鋼、形鋼、線材、熱延ロールの納入実績

ヨーロッパ	アフリカ	東南・南アジア	東アジア	北中南米
Acciaierie Valbruna	EZDK	Formosa Ha Tinh Steel	BAOSTEEL	Arcelor Mittal
Arcelor Mittal	Ironmet	G Steel	China Steel	Cleveland Cliffs
COGNE	Suez Steel	JSW Steel	DONG-IL IND.	CMC Steel
Ferriere Nord		Kyoei Steel Vietnam	Dongkuk Steel	CSN
GMH	中東	P.T.Jatim Taman Steel	Dragon Steel	GERDAU Steel
MMK	AL-ITTEFAQ STEEL	Southern Steel	HANSCO	NUCOR Steel
OZD Steel Works	Colakoglu	SSI	HKS	North American Stainless
SSAB	Emirates Steel	TATA Steel	HYUNDAI STEEL	Steel Dynamics
	GARMCO	VINA Kyoei Steel	KISCO	
	HADEED		POSCO	
	Kroman Celik		TUNG HO STEEL	
	KWT Steel		YUSCO	
	Shadeed Iron & Steel			

## 工場・事業所・営業拠点

- 本 社
- 工 場
- 事業所
- 支 店



# NETWORK of FUJICO